

三島駅南口周辺開発 地下水対策検討委員会

第9回委員会

-地下水調査結果-

令和5年11月27日(月)

目次

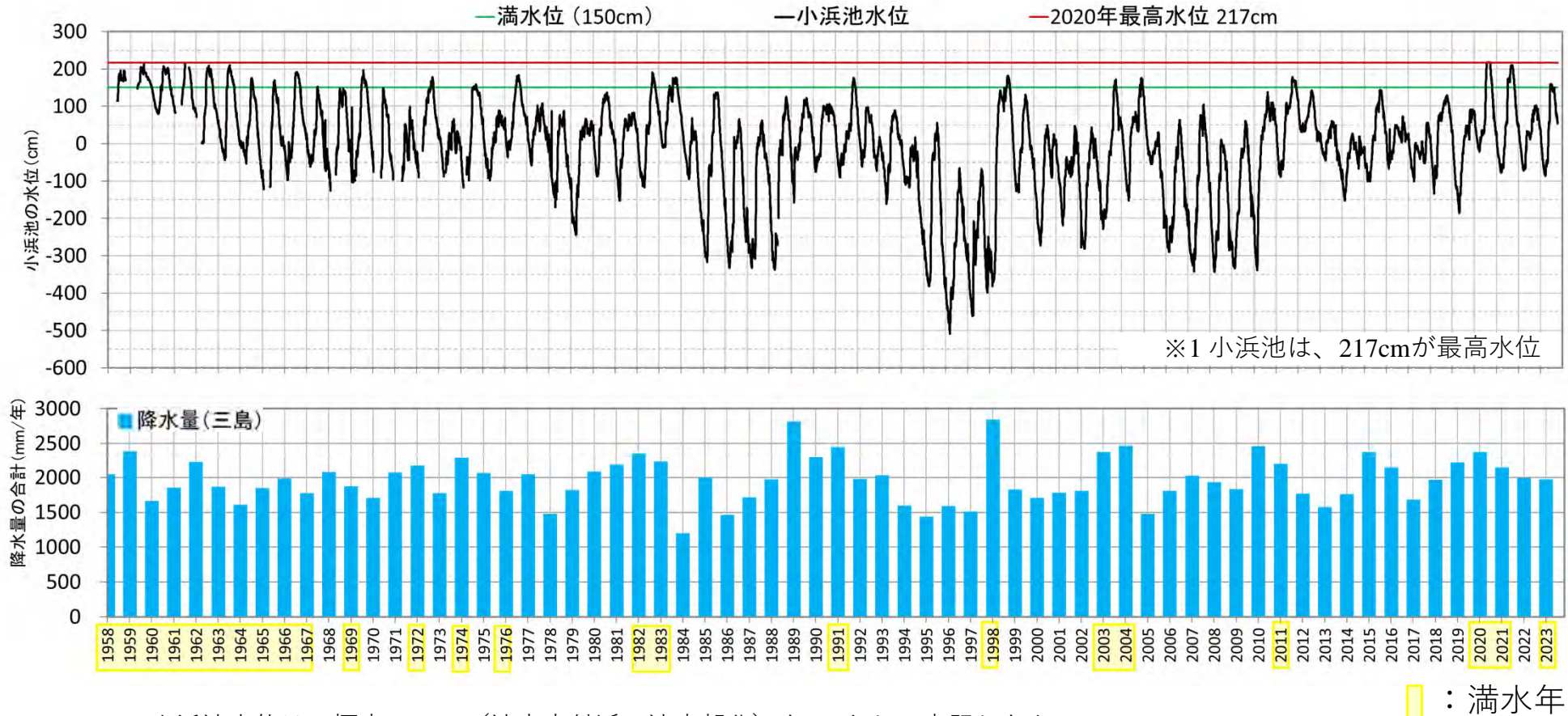
- 1. 三島市 地下水位の経年変化 ……P2
- 2. 三島駅周辺 地下水調査結果 ……P4

1. 三島市 地下水位の経年変化

1. 三島市 地下水位の変化

■ 楽寿園 小浜池水位

- 楽寿園 小浜池は、地下水が地表に現れ形成された池である。
- 小浜池の水位は1958年から観測している。
- 最近10年間では、2019年4月26日に水位-186cmと低い水位を示し、2020年7月25日に217cm^{※1}と観測開始以降で最も高い水位を示した。小浜池の水位は、現在（2023年10月31日）38cm程度を示している。



※ 小浜池水位は、標高25.69m（池中央付近の池底部分）を0cmとして表記したものの

2. 三島駅周辺 地下水調査結果

2. 三島駅周辺 地下水調査結果

観測概要

地点	B-3	B-6	B-7	B-9	B-11	B-14	市観測井戸	県観測井戸	B-No.2	No.6	No.7
手ばかり水位測定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
自動水位測定	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○
水質測定	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○
調査主体	三島市							事業者			

B-7は東街区の上流に位置し、重要な観測地点となることから2023年4月より観測項目を追加

2023年5月よりNo.6とNo.7にて地下水調査を開始

○手ばかり水位測定

- ・月1回の手動測定

○自動水位測定

- ・1時間に1回の自動測定

○水質測定

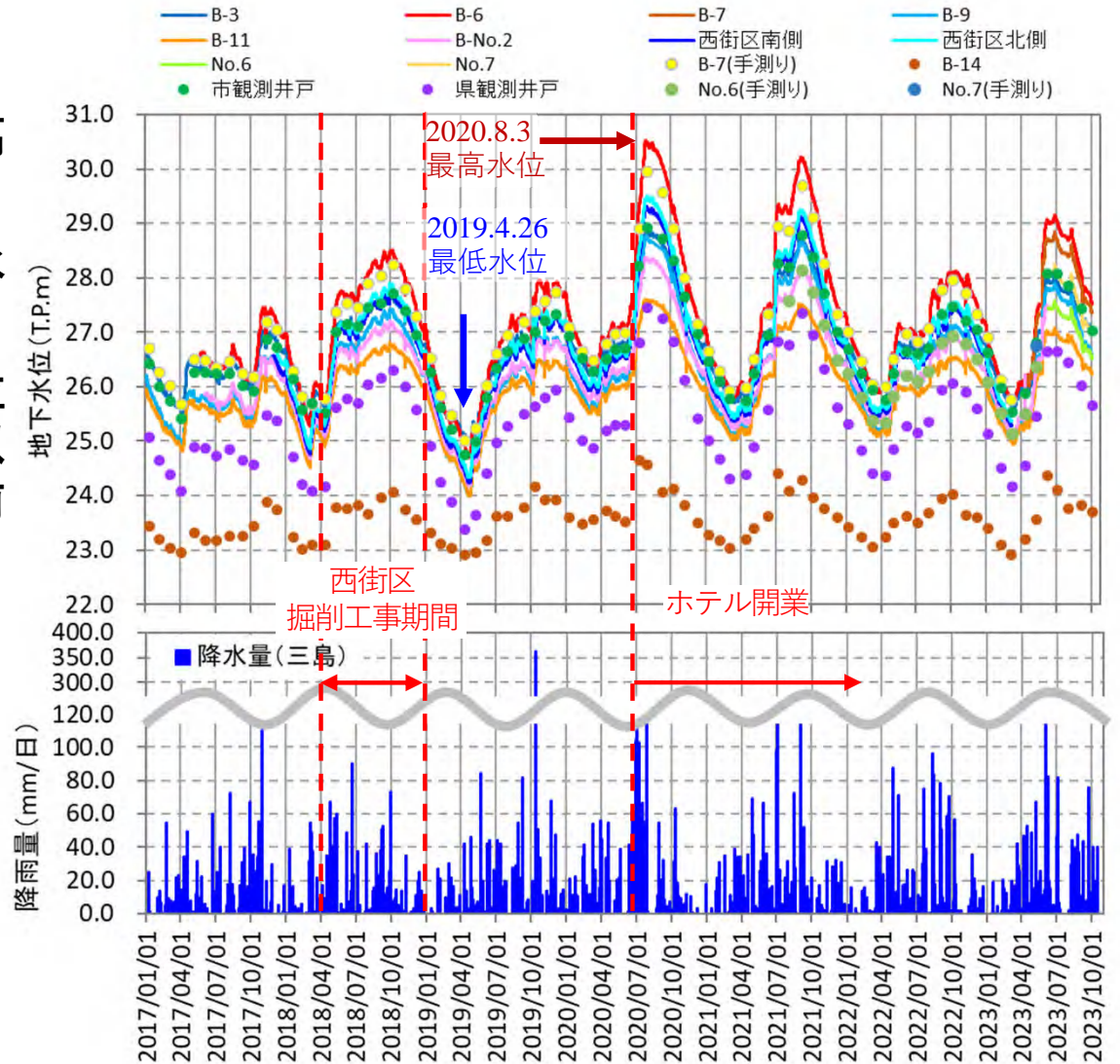
- ・月1回の水温、pH、電気伝導度（EC）、濁度の測定、半年に1回の溶存イオン分析
- ・「No.6」、「No.7」においては、月に1回の水温、pH、電気伝導度（EC）、濁度の測定



2. 三島駅周辺 地下水調査結果

■地下水位調査結果

- 三島駅周辺の地下水位は、4月～5月に上昇した後、6月～10月ごろまで高水位を保ち、11月～3月に低下する。
- 最低水位は2019年4月26日に、最高水位は2020年8月3日に観測した。
- 西街区掘削工事期間による地下水位の変化は確認されず、ホテル開業以降も同様の結果であったことを、前回までの委員会で確認した。



※西街区観測井戸2箇所は2023年3月で調査終了

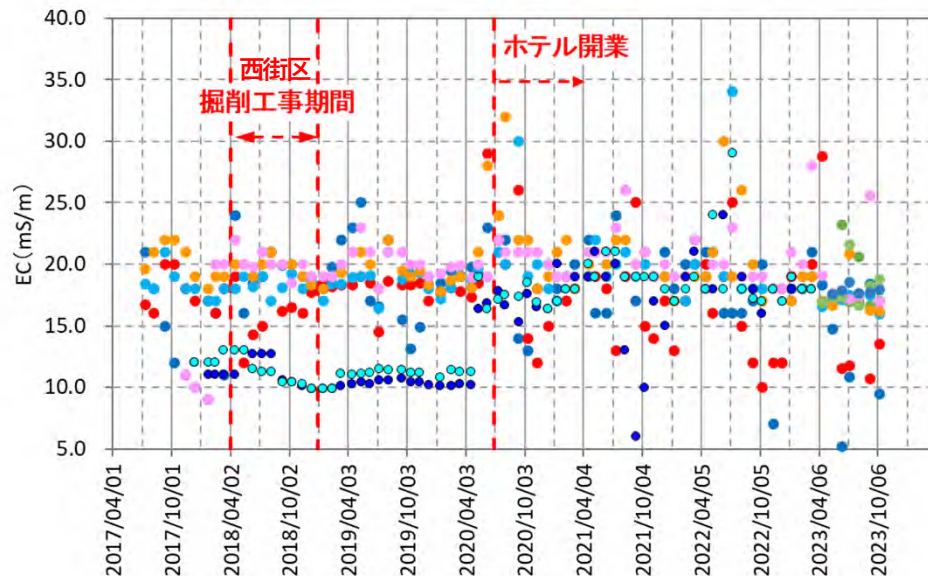
2. 三島駅周辺 地下水調査結果

■地下水質調査結果

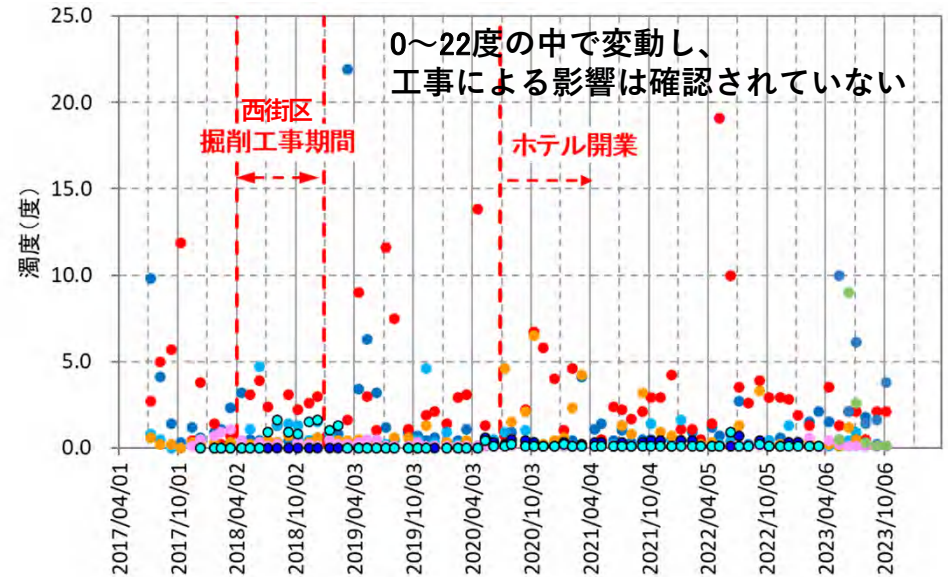
- 三島駅周辺の地下水において、電気伝導度（EC）は5~34mS/m、pHは6~8、濁度0~22度の幅で変動している。
* 地下水の水質を規定する基準等はない。
- 西街区掘削工事による地下水質の変化は確認されず、ホテル開業以降も同様の結果であった。
- 電気伝導度（EC）について、ホテル開業後に西街区の観測値の上昇が確認されたが、機械の変更により生じた誤差であった。



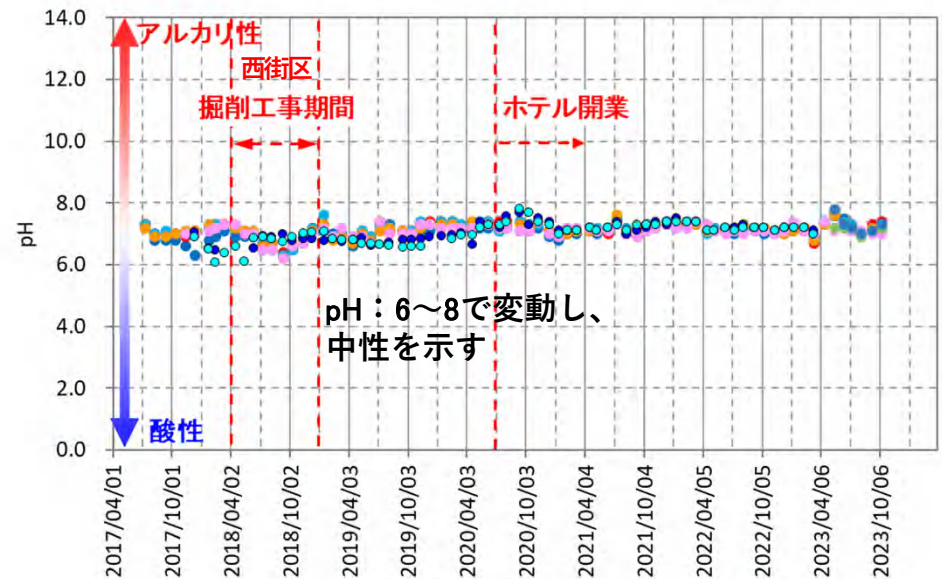
電気伝導度（EC,単位：mS/m）



濁度（単位：度）



pH



2. 三島駅周辺 地下水調査結果

■地下水質調査結果(ヘキサダイアグラム)

水質調査方法

- ヘキサダイアグラムは、水に溶存している各種イオン濃度を六角形で図示したもので、その形から地下水の特徴を比較することができる。

調査結果

- 三島駅周辺の地下水質は、陽イオンの Ca^{2+} と陰イオンの HCO_3^- が多い、 Ca^{2+} - HCO_3^- 型の水質を示している。
- 同時期で比較した場合、各地点のヘキサダイアグラムの形に大きな違いがないことを確認した。
- 地点ごとで比較した場合、季節の違いによるヘキサダイアグラムの形に大きな変化がないことを確認した。

